

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア

コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 北角浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,981	79.0	415	683.1	401	—	283	—
23年3月期第3四半期	1,106	△14.9	53	—	35	—	△8	△96.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 258百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △52百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	13,435.26	13,234.26
23年3月期第3四半期	△416.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,241	1,215	54.2
23年3月期	1,768	960	54.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,215百万円 23年3月期 960百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	200.00	200.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,246	1.3	303	△3.6	291	△4.7	203	△11.8	9,632.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	21,375 株	23年3月期	21,364 株
24年3月期3Q	290 株	23年3月期	290 株
24年3月期3Q	21,083 株	23年3月期3Q	20,952 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による生産活動や個人消費の落ち込みから回復しつつあるものの、海外経済の減速と円高の長期化や株価下落などにより、景気の本格回復には依然として不透明な状況が続いております。当社グループが属するゲーム業界におきましては、PlayStation Vitaが発売され、新しいハードウェアへの転換が進み環境も変化し、企業間競争は激しさを増しつつあります。

コンシューマゲーム業界におきましては、新ハードウェアであるPlayStation Vita及びニンテンドー3DSが市場に出揃ったことで、ハードウェアの買い替え需要が高まり、さらに年末商戦が重なったことで市場の活性化が見られました。

モバイルゲーム業界では、スマートフォン（高性能携帯電話）への買い替えは依然として活発に行われており、スマートフォン市場は益々拡大しております。反面、参入企業の増加で競争は激化しており、より質の高いゲームをタイムリーに投入することが一層重要になってきております。

アミューズメント業界では、東日本大震災及び計画停電の影響からは回復しつつあるものの、業界全体の集客率に回復は見られず、依然として低調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、パッケージ事業では市場の変化に対応すべく、新ハードウェアであるPlayStation Vita及びニンテンドー3DSへ向けてタイトルを投入いたしました。また、関連商品につきましては、コミックマーケット、秋葉原電気外祭りといった国内外のイベントに参加し、認知度の向上を図ってまいりました。オンライン事業では、Android OS搭載端末のスマートフォンに向けたゲームアプリの配信を行うとともに、PlayStation Network を通じてダウンロードコンテンツの配信も行っていました。また、今後のオンラインビジネスの強化を図るために、新たに子会社（株式会社ディオンエンターテインメント）を設立いたしました。ライセンス事業では、他社とコラボレーションしたソーシャルゲームの配信、ライセンスアウトという新たな試みを展開いたしました。その他事業では、『うたの☆プリンスさまっ♪Music』等の受託開発を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,981,536千円（前年同期比79.0%増）、営業利益415,995千円（前年同期比683.1%増）、経常利益401,242千円（前年同期比1,022.3%増）、四半期純利益283,261千円（前年同期比8,730千円の四半期純損失）となりました。

当社は、2012年3月期より今後の成長戦略として、新たな経営理念「Entertainment for All」を掲げ、幅広いメディア、幅広いジャンルを通じた当社ならではのエンターテインメントの提供、実現に向け取り組んでおります。

報告セグメントにつきましても、今後の成長戦略に則ったマネジメント・アプローチにより第1四半期連結会計期間から、新たな報告セグメントであるパッケージ事業、オンライン事業、ライセンス事業、その他事業の区分により業績を公表いたしております。

セグメント別の業績は、以下のとおりです。

(パッケージ事業)

パッケージ事業におきましては、国内外合わせ全10タイトルの発売を行いました。

国内市場においては、『ビックリマン 漢熟霸王 三位動乱戦創紀』（ニンテンドー3DS専用ゲームソフト）、『ファントム・キングダム PORTABLE』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）、『魔界戦記ディスガイア4 フーカ&デスコ編はじめました』（PlayStation 3専用ゲームソフト）、『魔界戦記ディスガイア3 Return』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）等の5タイトルを発売いたしました。特に、PlayStation Vitaと同日に発売いたしました『魔界戦記ディスガイア3 Return』につきましては、堅調に推移いたしております。

海外市場においては、『Bleach : Soul Resurreccion』（邦題：『BLEACH SOUL IGNITION』、PlayStation 3専用ゲームソフト）、『Disgaea4 : A Promise Unforgotten』（邦題：『魔界戦記ディスガイア4』、PlayStation 3専用ゲームソフト）、『Cave Story 3D』（邦題：『洞窟物語 3D』、ニンテンドー3DS専用ゲームソフト）等の5タイトルを発売いたしました。中でも『Disgaea4 : A Promise Unforgotten』につきましては、当社が海外で発売したタイトルの中で過去最高の評価をいただきました。

当社の新作タイトルに合わせたグッズの製作・販売につきましては、当社ホームページでの通信販売サイトの運営をはじめ、「コミックマーケット80」、「Anime Expo 2011」、「秋葉原電気外祭り 2011 Winter in平和島」といった国内外の大型イベントに出展することで、新規顧客の獲得と既存顧客の満足度の向上や知名度の向上に努めました。また、PlayStation Vitaの発売にあわせ、クリスタルケース等の周辺機器の販売を行いました。

その結果、当事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,528,698千円、営業利益274,003千円となりました。

(オンライン事業)

オンライン事業におきましては、PlayStation Networkへの不正アクセスによる障害の復旧後『魔界戦記ディスガイア4』等のダウンロードコンテンツの配信が好調に推移いたしております。また、Android OS搭載端末のスマートフォンに向けたゲームアプリ『無限魔界ディスガイア』の配信も行いました。さらに、オンラインビジネスの強化を図るために子会社（株式会社ディオンエンターテインメント）を新たに設立し、今後さらに成長の見込める同分野で、優良なコンテンツを提供できるよう準備を進めてまいります。

その結果、当事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高219,451千円、営業利益178,791千円となりました。

（ライセンス事業）

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業としてGREE及びmixi向けソーシャルゲーム『ビクトリマン』を開発・配信し新規ユーザー層の獲得を図ることができました。

その結果、当事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高109,385千円、営業利益98,180千円となりました。

（その他事業）

その他事業におきましては、アミューズメント施設の運営の他、当社が受託開発を行いました『うたの☆プリンスさまっ♪Repeat』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）、『うたの☆プリンスさまっ♪Music』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）が株式会社プロコリーから発売され、7月から放送されたTVアニメ『うたの☆プリンスさまっ♪マジLOVE1000%』の好評を受け、販売本数も急増し、お客様から高い評価をいただき好調に推移いたしております。

その結果、当事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高124,001千円、営業利益27,177千円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,241,922千円となり、前連結会計年度末に比べ473,187千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末に比べ237,976千円の増加）、受取手形及び売掛金の増加（前連結会計年度末に比べ106,021千円の増加）等によるものであります。

主な固定資産の増減は、建物及び構築物の減少（前連結会計年度末に比べ15,215千円の減少）、機械装置及び運搬具の増加（前連結会計年度末に比べ4,139千円の増加）等によるものであります。

（負債の部）

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,026,502千円となり、前連結会計年度末に比べ218,426千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、短期借入金の増加（前連結会計年度末に比べ130,000千円の増加）、買掛金の増加（前連結会計年度末に比べ40,908千円の増加）等によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の減少（前連結会計年度末に比べ27,505千円の減少）等によるものであります。

（純資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,215,419千円となり、前連結会計年度末に比べ254,760千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、四半期純利益による増加等によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当第3四半期の進捗状況及び第4四半期発売予定タイトルの状況等を勘案し、通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成24年2月3日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、海外連結子会社については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	487,251	725,227
受取手形及び売掛金	292,912	398,934
商品及び製品	20,128	94,113
仕掛品	72,896	173,685
繰延税金資産	14,301	13,371
その他	65,179	53,339
流動資産合計	952,670	1,458,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	373,709	358,494
機械装置及び運搬具（純額）	1,732	5,872
土地	172,746	172,746
その他（純額）	36,420	31,167
有形固定資産合計	584,609	568,280
無形固定資産		
投資その他の資産	16,456	11,693
投資有価証券	191,534	177,817
その他	23,463	25,459
投資その他の資産合計	214,998	203,276
固定資産合計	816,064	783,250
資産合計	1,768,734	2,241,922

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	80,420	121,328
短期借入金	279,600	409,600
1年内返済予定の長期借入金	39,175	37,507
未払金	63,998	85,796
未払法人税等	11,698	48,763
賞与引当金	18,305	30,358
売上値引引当金	70,408	89,128
その他	53,508	39,901
流動負債合計	617,114	862,384
固定負債		
長期借入金	183,249	155,744
退職給付引当金	7,092	8,320
その他	620	53
固定負債合計	190,961	164,118
負債合計	808,076	1,026,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,870	244,062
資本剰余金	233,870	234,062
利益剰余金	593,815	872,862
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	1,054,684	1,334,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,126	△6,091
為替換算調整勘定	△88,899	△112,605
その他の包括利益累計額合計	△94,025	△118,696
純資産合計	960,658	1,215,419
負債純資産合計	1,768,734	2,241,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	1,106,906	1,981,536
売上原価	510,306	918,061
売上総利益	596,599	1,063,474
販売費及び一般管理費	543,477	647,479
営業利益	53,122	415,995
営業外収益		
受取利息	1,546	3,228
受取配当金	2,632	863
有価証券売却益	67	—
その他	2,836	2,906
営業外収益合計	7,082	6,998
営業外費用		
支払利息	6,583	4,922
為替差損	17,509	16,792
その他	360	36
営業外費用合計	24,454	21,751
経常利益	35,751	401,242
特別利益		
固定資産売却益	—	4
債務免除益	3,990	—
特別利益合計	3,990	4
特別損失		
減損損失	8,480	—
開発中止損失	21,122	—
投資有価証券売却損	—	5,443
投資有価証券評価損	—	16,386
特別損失合計	29,603	21,829
税金等調整前四半期純利益	10,137	379,417
法人税等	18,868	96,155
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,730	283,261
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,730	283,261

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△8,730	283,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,352	△965
為替換算調整勘定	△39,615	△23,705
その他の包括利益合計	△43,967	△24,671
四半期包括利益	△52,698	258,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△52,698	258,590
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ事業	モバイル事業	アミューズメント事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	997,577	22,001	31,390	55,936	1,106,906	—	1,106,906
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	997,577	22,001	31,390	55,936	1,106,906	—	1,106,906
セグメント利益又はセグメント損失(△)	187,325	7,057	△6,547	4,865	192,700	(139,577)	53,122

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額139,577千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	オンライン事業	ライセンス事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,528,698	219,451	109,385	124,001	1,981,536	—	1,981,536
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,528,698	219,451	109,385	124,001	1,981,536	—	1,981,536
セグメント利益又はセグメント損失(△)	274,003	178,791	98,180	27,177	578,152	(162,157)	415,995

(注) 1. セグメント利益の調整額162,157千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来、セグメント情報における事業区分につきましては、「コンシューマ事業」、「モバイル事業」、「アミューズメント事業」及び「その他事業」の4つの事業区分としておりましたが、第1四半期連結累計期間から、今後の成長戦略に則ったマネジメント・アプローチにより、報告セグメントの変更について検討した結果、「パッケージ事業」、「オンライン事業」、「ライセンス事業」及び「その他事業」の4つの事業区分に変更しております。

変更後の各報告セグメントの主要製品は次のとおりであります。

事業区分	主要製品
パッケージ事業	家庭用ゲームソフト、関連グッズ、物品販売
オンライン事業	家庭用ゲームソフトのダウンロード販売、携帯電話用コンテンツ、スマートフォン用コンテンツ、SNSサイト課金
ライセンス事業	著作権の使用許諾収入
その他事業	アミューズメント施設の運営、上記以外

なお、変更後の区分方法による前四半期連結累計期間の情報を算定することが困難なため、当第3四半期連結累計期間について、前連結会計年度の区分方法により算定した情報を開示しております。

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ事業	モバイル事業	アミューズメント事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,749,832	27,566	12,782	191,354	1,981,536	—	1,981,536
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,749,832	27,566	12,782	191,354	1,981,536	—	1,981,536
セグメント利益又はセグメント損失(△)	574,399	△9,341	△19,370	32,465	578,152	(162,157)	415,995

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額162,157千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。